

## 第4回千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 専門部会 概要

1 日時 令和2年6月2日(火) 18:00～20:10

2 場所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

### 3 委員(敬称略・外部委員につき五十音順)

猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院 感染制御部長
入江 康文	公益社団法人千葉県医師会 会長
亀田 信介	一般社団法人日本病院会千葉県支部 支部長
神山 潤	東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者
小森 功夫	松戸市立総合医療センター 副院長
角南 勝介	成田赤十字病院 病院長
寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会 会長
中村 朗	総合病院国保旭中央病院 化学療法科 院長補佐
西牟田 敏之	公益社団法人千葉県医師会 公衆衛生担当理事
馳 亮太	成田赤十字病院 感染症科部長
宮崎 勝	国際医療福祉大学成田病院 病院長
山本 修一	千葉大学 副学長
石川 秀一郎	千葉県衛生研究所 所長
杉戸 一寿	千葉県保健所長会 会長
山崎 晋一郎	千葉県病院局長

### 4 関係機関等

山口 淳一	千葉市保健福祉局 次長
舘岡 恭子	千葉市保健福祉局 医療政策課 担当課長
筒井 勝	船橋市保健所 所長
戸来 小太郎	柏市保健所 保健予防課 課長
広木 修一	柏市保健所 保健予防課 専門監
松本 尚	千葉県災害医療コーディネーター

亀田 義人	千葉大学医学部附属病院 特任講師
吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター センター長
佐藤 大介	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター 特任准教授

## 5 県側出席者

加瀬 博夫	健康福祉部長
渡辺 真俊	保健医療担当部長
中村 勝浩	健康福祉部 次長
石出 広	健康福祉部 次長
正木 忍義	健康福祉部 参事
久保 秀一	健康危機対策監
井上 容子	健康福祉政策課長
舘岡 聰	疾病対策課長
田村 圭	医療整備課長

## 6 議題に係る主な意見等

### ○東葛北部・南部医療圏の会議報告について

- ・PCR 検査で陰性になった方の対応について、検査の感度が6～7割の中、どういった対応をすべきか、考え方のフローなどがあると現場対応が楽だという意見があった。
- ・東京都からの搬送依頼について、全て受け入れてよいか、ある程度は断らないといけないのか、判断が難しい。
- ・自宅療養やホテル待機の間に変化ということもあったので、ホテルは症状の安定した患者のみ受け入れることがよいのではないかという意見があった。
- ・東葛地域は感染状況が先行していくので、県としてもしっかり情報を把握していくことが重要である。

### ○ホテル運営について

- ・自宅待機はリスクが高いため、基本的にはホテルに入れることを基本的な方針としていただきたい。
- ・その際、まだ症状の変化の可能性のある方をホテルに入れることを決めると、急変等の対応に備え、医師、看護師の配置を考えないといけない。ここが決まると、これらの方を受け入れるためのホテル療養の進め方が現実的になる。
- ・急変する患者は必ず出てくるので、ホテル運営にあたり、これをどう担保するかというのが大切になると思う。国の基準のとおり、基礎疾患のない、65歳未満であっても、医師の診察がないままホテルに入るのは危険だと思われる。
- ・無症状の人がいきなり半日で人工呼吸器管理になることはない一方、有症状で発熱している人がそうなることはあり得る。そうすると、ホテルの入所にあたっては、有症状者と無症状者を分けるということが大切だと思う。
- ・無症状か有症状かの判断を誰がするか、という問題がある。患者が少ない時には、帰国者・接触者外来で対応できるかとは思いますが、増えてくるとそれは難しい。
- ・この判断は、できれば丁寧にやりたいが、無症状と判断されれば、まだ症状の変化の可能性のある方も、症状の安定した方もホテルとし、それで有症状と判断されれば原則入院という整理にしてはどうか。

(県で検討事項とする。)

## ○透析患者の受入れについて

- ・透析患者のうち、重症者は ICU で対応ができるが、軽い人は、狭い室内で透析を受けることになるため、クラスターのリスクが高い。
- ・一方、各クリニックが自前で自分の患者は透析を行ってくれるという情報もあるので、その場所まで、どのように患者を移送するか、という問題が重要になる。

## ○社会福祉施設への予防的介入について

- ・施設職員への研修のような、予防的介入の実例について、多くの施設で展開できるようにすることが必要である。そこは、行政の力が必要だと思われる。

## ○その他

- ・患者の情報について、各医療機関にもう少し細かい内容を提供してもらえれば、診断に役立つと思われる。詳細な情報を提供することが難しければ、現在公表しているものについて、速やかに提供されるとよい。
- ・冬季には、インフルエンザとコロナの鑑別が付かない患者が想定される。インフルエンザの検査はできるが、コロナの検査はできない、となると、混乱が生じるとと思われる。そのあたり、今後検討していく必要があると思う。